

区 林 産

平成23年次の素材生産量は137千 m^3 で、前年に比べ2%減となり、ほぼ横ばいで推移している。

また、平成23年次の県内の素材総需要量は389千 m^3 で、そのうち国産材の割合は87.4%と前年に比べ4.1ポイント増加しており、製材工場等における外材から国産材への原料転換が進んでいるが、県産材の割合が20.6%と前年に比べ4.3ポイント減少しており、他県産材の流入が進行していることがうかがえる。

しいたけやたけのこ等の特用林産物生産量は、輸入量などの影響により減少傾向にあった。しかし近年は、食の安全に対する関心の高まり等、需用の増加を受け、一部の作物において生産量が増加傾向となっている。

平成23年次たけのこ生産量は、裏年であったことから対前年比24.1%減の10,034トンと減少している。

1. 木 材

(1) 木材の生産・需要

ア. 県産材樹種別素材生産量

(単位：千 m^3)

区分 年次	総 数	針 葉 樹						広葉樹
		総 数	あかまつ くろまつ	す ぎ	ひのき	も み つ が	その他 針葉樹	
19	135	120	1	101	18	—	0	15
20	177	162	3	137	22	—	0	15
21	123	116	3	87	20	—	6	7
22	140	129	2	113	14	—	0	11
23	137	123	4	101	18	—	0	14

資料：農林水産省大臣官房統計部「木材需給報告書」及び「木材統計」

イ. 県産材用途別素材供給量

(単位：千 m^3)

区分 年次	総 数	製 材 用	木 材 チップ用	備 考
19	135	115	20	
20	177	143	25	
21	123	96	27	
22	140	108	32	
23	137	107	30	

資料：農林水産省大臣官房統計部「木材需給報告書」及び「木材統計」

ウ. 材種別素材需要量

(単位：千m³)

年次	区分 総数	国産材	外材					
			総数	米材	南洋材	北洋材	ニュージーランド産	その他
19	471	336	135	67	5	46	5	12
20	443	318	125	68	6	42	4	5
21	382	298	84	42	8	26	1	7
22	365	304	61	50	2	5	1	3
23	389 (350)	340 (301)	49 (49)	37 (37)	5 (5)	3 (3)	1 (1)	3 (3)

※ () 内は製材用としての需要量

資料：農林水産省大臣官房統計部「木材需給報告書」及び「木材統計」

※木材需要量統計：この統計調査では、木材需給動向・素材生産量の把握については、山元段階の調査が困難なことから、素材消費工場段階への入荷量をもって素材供給量（＝素材需要量）とみなし、その内国産材供給量を素材生産量としている。素材生産量については、県間交流表により都道府県別・樹種別に算出し、外材供給量は、産地材別に調査している。

(2) 福岡県での新設住宅着工戸数

(単位：戸)

区分 年次	総数	木造	非木造	木造率 (%)
19	45,066	15,994	29,072	35
20	47,139	17,183	29,956	36
21	28,997	13,366	15,631	46
22	31,156	14,717	16,439	47
23	34,945	15,788	19,157	45

資料：国土交通省「住宅着工統計」

(3) 福岡県での木材価格

(単位：円/m³)

区分 年次	丸太 (18.0~22.0cm・長さ4.0m)		正角2級 製材品 (10.5cm×10.5cm×3.0m)		
	スギ	ヒノキ	スギ	ヒノキ	
19	13,100	21,700	37,600	65,600	
20	12,000	21,800	34,900	63,100	
21	10,700	19,200	32,900	59,400	
22	12,300	19,500	32,700	56,200	
23	12,200	18,100	34,900	56,900	
平成 23 年 次 内 訳	1月	12,900	19,600	34,800	56,700
	2月	12,500	20,200	35,000	56,700
	3月	12,450	19,950	35,600	56,700
	4月	11,850	17,500	35,600	57,100
	5月	11,000	17,300	35,100	56,700
	6月	10,300	17,550	35,000	56,700
	7月	11,100	17,100	34,800	56,700
	8月	12,450	17,500	34,500	56,700
	9月	13,050	17,750	34,500	56,700
	10月	12,950	18,000	34,500	56,700
	11月	13,050	17,000	34,500	57,800
	12月	12,750	18,300	34,800	57,800

資料：農林水産省大臣官房統計部「木材需給報告書」及び「木材価格」

※平成19年次より農林水産省の丸太価格の調査データがなくなったため、丸太価格については、県森連浮羽事業所の丸太価格（径18.0~22.0cm・長さ4.0m）を表示している。

2. 福岡県内の規模別製材工場数

(単位：工場)

区分 年次	総 数	7.5～ 22.5kw	22.5～ 37.5kw	37.5～ 75.0kw	75.0～ 150.0kw	150.0～ 300.0kw	300.0kw 以 上
19	188	21	54	63	26	14	10
20	175	24	44	55	26	15	11
21	168	41	32	44	27	14	10
22	159	25	41	49	23	13	8
23	146	21	40	45	19	13	8

資料：農林水産省大臣官房統計部「木材需給報告書」及び「木材統計」

3. 主要特用林産物生産量

(単位：トン(竹材：千束))

年次	種別	しいたけ		たけのこ	竹 材		木ろう	木 炭 等		えのきたけ	ぶなしめじ	くり	ぎんなん	ふき
		乾	生		まだけ	もうそう		木炭	竹炭					
19		21	624	6,811	15	50	34	36	344	6,501	9,562	93	94	413
20		27	820	10,723.3	13	49	23	31	366	6,396	9,325	88	82	343
21		25	803	8,050.9	12	49	21	29	302	6,649	10,761	117	98	352
22		26	813	13,225.8	12	49	22	33	269	7,182	11,767	-	-	330
23		29	658	10,034.5	11	52	14	34	338	7,866	12,086	56	143	356
平成 23年 次内 訳	筑後	13.5	196.8	9,112.5	7.0	50.0	14.2	1.7	318.4	6,160.3	11,960.6	26.2	92.5	75.6
	朝倉	9.5	130.7	85.6	-	-	-	18.8	0.9	249.4	117.6	13.8	19.3	6.1
	福岡	-	15.3	51.9	4.0	1.5	-	5.2	1.5	711	6.9	1.2	4.4	56.5
	飯塚	4.2	110	218.7	-	-	-	4.5	15.8	-	0	5.2	22.0	188.8
	八幡	-	185.6	486.5	-	0.0	-	2.2	1.2	743.7	0	2.0	2.0	22.7
	行橋	1.9	20	79.3	-	-	-	1.3	0.3	1.8	1.1	7.4	2.3	5.9

(注) 四捨五入の関係で年次内訳と合計は一致しない。

4. 特用林産基盤整備事業

特用林産物の産地化を推進し、特用林産物の品質の向上、生産の合理化をはかるため、昭和61年度から実施している。

農林名	市町村	地域名	事業主体	振興作物	事業種目	事業内容	事業量	総事業費 (千円)
八幡	北九州市	小倉南区 合馬地区	合馬たけのこ生産組合	たけのこ	特用林産物造成事業	竹林改良(客土)	1.28ha	2,824
								小計
朝倉	久留米市	上津町	農業組合法人 e-FARM久留米	たけのこ	特用林産物造成事業	竹材粉碎機	1台	3,858
								小計
筑後	八女市	上陽町横山	八重谷椎茸生産組合	乾しいたけ	特用林産物造成事業	椎茸乾燥機	1台	1,370
		立花町上辺春	農事組合法人農青	たけのこ	特用林産物造成事業	竹林改良	1.67ha	2,381
	大牟田市	大字四ヶ	湯谷タケノコ生産組合	たけのこ	特用林産物造成事業	竹林粉碎	1台	1,289
	小計							5,040
福岡	福津市	畦町字京田	福津椎茸組合	生しいたけ	特用林産物造成事業	ほだ場造成	0.21ha	1,469
		上西郷	福津椎茸組合	生しいたけ	特用林産物造成事業	ほだ場造成	0.05ha	860
	小計							2,329
合計								14,052

(注) 四捨五入の関係で、小計の総和は合計の値と一致しない。